



平成 28 年度 ユニバーサルデザインフォトコンテスト 応募マニュアル



ぼくたちがフォトコンテストの
紹介をします!!



名前は「こころころ」です。
コロコロころがって、
みんなに思いやりのこころを
広げていきます。

名前は「UDキッズ」です。
UDを発見するのが大好きです。



—— 東北のウイン ——
楽都郡山



郡山市では、みなさんの地域や普段の暮らしの身近なところで、小さなお子様やお年寄り、身体の不自由な方も含め、“みんな”が暮らしやすくなるユニバーサルデザイン（UD）に配慮した「もの」や「取り組み」等の写真を募集します。

1 募集作品

《わが家のUD部門》

家庭において、誰もが使いやすいように工夫しているものや場所、UDと感じた設備や製品等の写真に説明書きを添えて応募してください。（P 9～P 10 記入例及び応募手順を御覧ください。）

《わがまちのUD部門》

地域において、地域の人々が安心して生活できる取り組み、工夫しているものや場所、まちなかで見つけたUDと感じた設備や製品等の写真に説明書きを添えて応募してください。（P 9～P 10 記入例及び応募手順を御覧ください。）

2 応募規定

フォトコンテストの応募につきましては、次の応募規定に従って応募いただきます。

応募資格について

- 郡山市内に在住、在勤、在学している方

応募作品について

- 応募作品は、未発表のものに限ります。
- 応募サイズは、カラープリント、「2 L 以上」とします。（カラープリンター出力可）
- フィルム・デジタルカメラ撮影のもの。（組写真、合成写真不可）
- 応募点数は、一人3点までとします。
- 応募作品の裏面に氏名を明記し、応募票に必要事項を記入し添付してください。
- 応募作品は返却いたしません。
- 応募作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。
- 応募作品は、イベント等における展示やパンフレット等ユニバーサルデザインの啓発活動に活用する場合があります。

3 募集期間

平成28年7月1日（金）から平成28年9月30日（金）まで
※当日消印有効

4 応募方法

(1) 郵送により応募

応募用紙と応募作品を同封して、下の応募先に送付してください。(送料は応募者負担)

(2) 直接応募

応募用紙と応募作品を市民・NPO 活動推進課までお持ちください。

5 応募先及び問合せ先

〒963-8601 (住所不要)

郡山市 市民部 市民・NPO 活動推進課宛て (市役所西庁舎 3 階)

T E L 024-924-3471 (月～金 8:30～17:15)

F A X 024-931-5186

6 審査方法

審査委員会で審査します。

7 賞及び賞品

《わが家の UD 部門》

わが家の UD 大 賞 1 点 (賞状、トロフィー、図書カード 5 千円)

わが家の UD 奨励賞 2 点 (賞状、図書カード 3 千円)

《わがまちの UD 部門》

わがまちの UD 大 賞 1 点 (賞状、楯、図書カード 5 千円)

わがまちの UD 奨励賞 2 点 (賞状、図書カード 3 千円)

8 発表及び表彰

●入賞作品は、平成 28 年 12 月頃に入賞者に通知します。

9 その他

●個人情報とは、厳重に管理し、出品者リスト作成以外には使用いたしません。ただし、入賞者については、入賞者名簿等に使用いたします。

●入賞者には、ネガフィルム又はデジタルカメラのデータを提出していただきます。



ユニバーサルデザインってなに？



ユニバーサルは「みんなの」・「すべての」、デザインは「計画」・「設計」という意味です。その頭文字をとって「UD」とも言われます。

まちには、子どもからお年寄り、障がいのある方、外国出身の方など、いろいろな方が暮らしています。そんな「みんな」が使いやすい「もの」や「まち」になるようにデザインしよう、工夫しようという考え方が、ユニバーサルデザインです。

「みんなが使いやすい工夫」である「ユニバーサルデザイン」には、7つの原則があります。



「7つの原則」というのはななに？

7つの原則とは、「ユニバーサルデザイン」で、まちづくりやものづくりをするときの目標のことで、次の7つのことだね。

- 1 公平性：誰もが公平に利用できること。
- 2 自由度・柔軟性：使う上で自由度が高いこと。
- 3 単純性：使い方が簡単ですぐわかること。
- 4 分かりやすさ：必要な情報がすぐに理解できること。
- 5 安全性：うっかりミスや危険につながらないデザインであること。
- 6 負担の少なさ：無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること。
- 7 スペース等の確保：操作しやすいスペース等を確保すること。



どんな写真を撮れば良いのかなあ？



今回、募集している部門は、「わが家のUD部門」と「わがまちのUD部門」の2つの部門があります。

どちらの部門にも言えることですが、UDの7つの原則を基本として、「みんな」が使いやすいように工夫している「もの」や「設備」、「取り組み」などを写真に撮ることが大切です。

さらに、実際に人がものや設備等を使用していたり、取り組んでいる様子が写っていると、写真を見た人が、より一層わかりやすい作品になると思います。



それじゃあ、実際にどんな写真やコメントがいいの？

じゃあ、事例を挙げてみよう！

「わが家のUD部門」は次のような写真やコメントだと良いよね。

A



B



ふみ台があれば、背の小さい私でもお家の仕事をいろいろお手伝いできて、仕事も早く終わり、家族みなでお話したりゲームをしたりできるようになりました。

私の家では食べ物の大きさを工夫して、お年寄りなどみんなが食べやすくしています。そうすることで、食べ残しも少なくなりました。



写真は、A、Bどちらも家庭での工夫を写したものだけど、お手伝いをしている様子やおいしく食事をしている様子を撮っているので分かりやすい写真になっているよね。

次にコメントをみてみよう。

基本的には写真の説明になるけど、UDの7つの原則に関連する内容になっているとさらに良いね！

たとえば、Aの写真のコメントは、「背の小さな私でもできる」という点で、「1 公平性」と「6 負担の少なさ」について、「ふみ台」の使いやすさという点で、「2 自由度・柔軟性」や「3 単純性」について、配慮していることが分かるね。

同じようにBの写真のコメントからは、「みんなが食べやすい」という点で、「1 公平性」や「5 安全性」、「6 負担の少なさ」について配慮していることが分かるね。



A、Bの写真は、みんなが公平に利用できるような工夫であったり、分かりやすい内容になっているので、まさにUDの写真としてポイントが高いですね。

さらに付け加えると、Aの写真は「お手伝いすることで仕事を早く終わらせて、家族の時間をつくろう」という気持ちが込められており、思いやりを「かたち」にした「心のユニバーサルデザイン」が表現されていると言えますね。



じゃあ、「わがまちのUD部門」は？

「わがまちのUD部門」はこんな感じですね。

C



D



私の地域では、防犯、交通事故防止にみんなで取り組んでいます。毎朝会っているので、スーパーなど別の場所で会ってもあいさつできるようにになりました。

私の地域では、広い広場を活用して年齢、障がいの有無に関係なく、誰もが安全に参加できる夏祭りを開催しています。地域のたくさんの人たちと仲良しになることができました。

写真は、C、Dどちらも地域での取り組みを撮影したのですが、前の説明にもあるように、人の動作を捉えていて分かりやすい表現になっていますね。

次にコメントをみましょう。

基本的には写真の説明になりますが、UDの7つの原則を踏まえた内容になっていると良いですね。

Cの写真のコメントをみると、案内による「4 分かりやすさ」や「防犯、交通事故防止」の取り組みとして「5 安全性」について配慮していることが分かりますね。

また、Dの写真のコメントからは、「広い広場を利用して」という点から「7 スペース等の確保」について配慮していることが、「年齢、障がいの有無に関係なく、誰もが参加できる」という点から「1 公平性」について配慮されていることが分かりますね。

なるほど、そういう写真を撮影して、コメントと一緒に応募すれば良いんだね♪ じゃあ、さっそく、ぼくたちも応募してみよう！



平成 27 年度入賞作品紹介



《わが家のUD部門》家族のみんなが使いやすくなる工夫や取り組みを表現する部門

大賞 はしもと 橋本 しょうた 昇汰 様 「大きい手でも安心！ハサミ」



<作品説明>

ぼくのハサミの持ち手の部分は、手の大きい人・指の太い人でもフィットしやすいように、少しのびるつくりになっています。

<ポイント>

ハサミの持ち手の“みんなが使いやすい”工夫に気づいたのがポイントです。見る人にも分かりやすい写真ですね。

奨励賞 えんどう 遠藤 こうた 晃太 様 「簡単！乗り上げ！」



<作品説明>

自転車を押して歩くだけで、簡単に乗り上げることができます。そして、手作りです。何よりも、愛情がある物が一番だと思います。

<ポイント>

ちょっとした工夫で、自転車の乗り上げも簡単になることが分かる写真です。手作りというのも良いですね。

奨励賞 さとう 佐藤 あゆ 亜有 様 「私サイズのスカート」



<作品説明>

ボタンを留める位置を変えるだけで、あらゆる体型の方が着用することのできるスカートです。

<ポイント>

簡単な工夫で、幅広い体型にフィットします。誰にでも着やすいユニバーサルデザインの衣服ですね。

《わがまちのUD部門》 地域 みんなが暮らしやすくなる取り組み等を表現する部門

くさか 大賞 日下 ひなた 様 「みんなが一休みできるベンチ」	
	<作品説明> この会社を建てた時、バス停でバスを待つ人のために、会社は敷地にベンチをつくりました。誰もが腰をかけて休むことができ、たくさんの人の役に立っているだろうと思いました。 <ポイント> まちなかのベンチの風景から、バスを待つ人への思いやりの心を感じ取ったところや、企業の取り組みに注目したところがポイントです。

いさじ れいな 奨励賞 伊左治 怜那 様 「自転車の下にある点字ブロック」	
	<作品説明> 自転車がいっぱいあると、目の不自由な人がぶつかる可能性があるから、危ないと思います。大事なことは、目が不自由な人が歩く所に自転車を置かないこと。 <ポイント> 目が不自由な人の立場になって、「危ない」場面に気がついたことがポイントです。自転車をとめるとき、そこにとめて困る人はいないかどうか、もう一度考えてみましょう。

きだ あきひと 奨励賞 木田 暁仁 様 「なにをすてるところか形でわかるユニバーサルデザイン」	
	<作品説明> 穴の形で入れるゴミを分けるユニバーサルデザイン。 <ポイント> 穴の形のの違いで、どの種類のゴミを入れるのか直感的に分かります。ゴミ箱の中も見えるのでより分かりやすいですね。



UDフォトコンテスト応募票 (必要事項を記入の上、作品と一緒に提出してください。)

タイトル			応募 区分	☐ わが家のUD ☐ わがまちのUD
ふりがな			年齢	歳
氏 名				
住 所	〒 -			
電話番号		F A X 番号		
学校名・学年				
撮 影 日	平成 年 月 日	撮影場所		
作品説明 (UDのポイント等)				

〈キリトリ〉

タイトルも工夫してみてくださいね!!



記入例

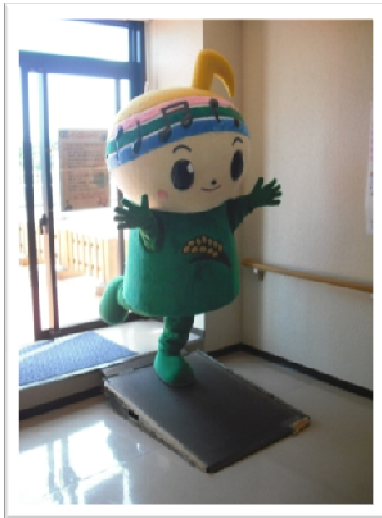
タイトル	スロープでみんなが便利に！		応募 区分	☐ わが家のUD ☒ わがまちのUD
ふりがな	こおりやま たろう		年齢	10 歳
氏 名	郡 山 太 郎			
住 所	〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23 番 7 号			
電話番号	024-924-XXXX	F A X 番号	電話番号と同じ	
学校名・学年	〇〇小学校 4 学年			
撮 影 日	平成 28 年〇月〇日	撮影場所	ニコニコこども館	
作品説明 (UDのポイント等)	がくとくんが、段差があって広場で遊べなくて困っていたので、スロープを設置してみました。そうしたら、小さな子からお年寄りまで、みんなが、らくらく通れて、みんなで遊ぶことができました。			



コメントも大事ですよ!!

応募手順

撮影した写真



必要事項を記入した応募票

UDフォトコンテスト応募票 (必要事項を記入の上、作品と一緒に提出してください。)			
タイトル	スロープでみんなが便利に！	応募区分	☐ わが家のUD ☒ わがまちのUD
ふりがな	こおりやま たろう	年齢	10 歳
氏 名	郡 山 太 郎		
住 所	〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号		
電話番号	024-924-XXXX	FAX番号	電話番号と同じ
学校名・学年	〇〇小学校 4学年		
撮 影 日	平成 25 年〇月〇日	撮影場所	ニコニコこども館
作品説明 (UDのポイント等)	がくとくんが、段差があって広場で遊べなくて困っていたので、スロープを設置してみました。そうしたら、小さな子からお年寄りまで、みんながらくらく通れて、みんなで遊ぶことができました。		



写真と応募票を一緒にして応募してください。

※複数（3点まで）応募される際は、写真と応募票の組合せが分かるように提出願います。

※写真の裏面に氏名を記入の上、提出願います。

※市ウェブサイトでも募集について紹介しています。
※応募マニュアル・チラシもダウンロード可能です。

UDフォトコンテスト

検索



《MEMO》



郡山市市民部市民・NPO活動推進課（市役所西庁舎3階）

〒963-8601

郡山市朝日一丁目23番7号

TEL. (024) 924-3471

FAX. (024) 931-5186

E-mail: shiminnpokatudou@city.koriyama.fukushima.jp

